

平成27年度文部科学大臣優秀教職員表彰 被表彰者名簿（奈良県）

No.	学校名	氏名	概要
1	天理市立山の辺小学校	牧山 文美 <small>まきやま ふみ</small>	<p>感謝の心を育成する、魅力ある学級・学校づくりの取組</p> <p>教務主任、学級担任として、教師も子どもも笑顔で意欲に燃えて「自分が好き・学校が好き・ふるさとが好き」と言える学級・学校作りを進めてきた。</p> <p>特に児童の自尊感情や規範意識、主体性を伸ばすために、「埴輪祭り」「創立140周年記念事業」「四つ葉プロジェクト」「奈良教育大教職大学院との連携協力」「学校・地域パートナーシップ事業」など学校教育の中核となる事業とリンクさせて、教師間のつながり、教師と子ども、学校と家庭・地域とのつながりを大切にした取組に力を注いできた。その結果、児童アンケートで「学校・授業が楽しい」「地域行事に積極的に参加している」と答える割合が高くなり、これらの取組が、着実に児童の力を高めて学級・学校を活性化させ、大きな効果につながった。</p>
2	生駒市立生駒南小学校	徳永 詳子 <small>とくなが しょうこ</small>	<p>けがの発生率減少につながった「やる気を引き出す体づくり」をテーマにした取組</p> <p>子どもの実態をみると、身体面はもちろん人間関係においても「不器用」な子どもが年々増えてきた。</p> <p>それを改善するために、関西国際大学の中尾繁樹先生の助言を受けながら、「やる気を引き出す体づくり」をテーマに取組を始めた。当初は学級だけの取組だったが、「GnP(ぐんぐんのびろプロジェクト)」を立ち上げ、学校全体で取組を始めた。子どもたちが楽しみながら体を動かせる環境づくりや、全校朝礼での「今月の動き」(体幹を鍛える運動)の紹介、個人カードの作成による配慮を要する児童の引き継ぎなどを行った。</p> <p>その結果、けがの発生率が減少し、学習に向かう心構えもよくなってきた。</p>
3	香芝市立真美ヶ丘東小学校	若狭 保 <small>わかさ たもつ</small>	<p>学校を核とした地域コミュニティ（ゆずりはコミュニティ）の取組について</p> <p>現任校の努力目標である、「地域との信頼関係の構築」に向けて教務主任として指導的な役割を担ってきた。</p> <p>従前も地域と連携した取組は行われていたが、組織的なものではなかった。そこで、当該教諭はリーダーシップを発揮し、企画立案段階からその趣旨を丁寧に説明し、意識改革を行い役割分担を明確にし、学校が組織的にかかわる体制を構築した。</p> <p>具体的な活動としては、4つのプロジェクトチーム「いきいき生活PT」「のびのび安全PT」「ぐんぐん学習PT」「すくすく健康環境PT」に分かれ、それぞれが職員と地域住民グループで検討を重ね取組を進めている。</p> <p>児童もキッズサポーターとして奉仕活動を行うなど、学校に一体感が生まれ、新たなアイデアが出やすくなるなど活性化してきた。保護者からの信頼感もより高まっている。</p>

平成27年度文部科学大臣優秀教職員表彰 被表彰者名簿（奈良県）

No.	学校名	氏名	概要
4	高取町立たかむち小学校	浅井 真紀	<p>「生きてはたらく言葉の力」を育むための系統立てた指導法の確立と若手教員の実践力の育成</p> <p>平成20年度の学校統合後、児童の「語彙力の乏しさ」や「表現スキルの未熟さ」という教育課題の背景には、系統立てた指導計画が十分確立されていないことがわかってきた。研修主任として、自らの実践を基盤に、「言語環境の整備」「言語活動の充実」について、指導内容・指導法を提案した。校内研修体制、指導計画の見直しを図り、研究授業・研究討議の内容の精選を行うなどした結果、授業改善に対する教職員の意識向上につながっている。</p> <p>また、若手教員が活躍できる環境づくりやサポート体制を整えることで、若手教員の成長を支援する取組を展開した。積極性と責任感を備えた若手教員が育っている。そのことが、学校全体に活気をもたらし、児童にも良い影響を与えている。</p>
5	天理市立前栽小学校	木岡 明美	<p>児童や保護者の思いに寄り添った「保護者との連携」する生徒指導</p> <p>日々の学校生活に見られる荒れる児童や課題をもつ児童に関わりながら、その児童の背景にある家庭事情に迫って指導や支援を行い、保護者が抱える不安要素が払拭できるように取り組んでいる。具体的には、問題事象が起これば、ゆっくりと話を聞き、保護者の思いをしっかりと受け止め、じっくりと話をし、家庭と密に連絡を取り合いながら見守り関わり続ける姿勢で必ず対応している。</p> <p>常に子どもの目線であり、丁寧に話を聞く姿勢が徹底しているので、たとえ固く心を閉ざしている子どもであっても徐々に心を開かせ、しっかり自分の気持ちを表現させる関わりができる。そのため、落ち着いて学習できる子どもが増えてきた。こうした対応についても、同僚や上司と共有することを基本とし、よりよいものにしようと心がけているため、学校全体により影響を与えている。</p>
6	五條市立五條中学校	長谷 豊	<p>地域とつながる生徒指導について</p> <p>自ら進んで考え、行動する力が弱いことに加え、五條中学校が独自に行ったアンケートの結果から、規範意識が低い実態がみられた。そこで、学校・家庭、地域と連携して規範意識を高め、意欲的に活動することができる取組を進めた。具体的な取組としては、「防災教育宿泊訓練」、「ゆかた教室と散策」、「花いっぱい運動」などである。</p> <p>その結果、地域の方々の見守りや情熱的な思いが、生徒の規範意識向上につながり、礼儀やマナーを守る行動に現れてきた。登校時に校門前で、自主的に出迎える活動をする生徒も見られるようになった。</p> <p>また、地域の方々にも五條中学校の生徒のことを知っていただくよい機会となり、関係が深まった。</p> <p>本教諭は、地域の方々の意見を生徒や教職員に伝え、生徒の学習意欲や地域と共に歩む学校としての教職員の意欲を高めた。</p>

平成27年度文部科学大臣優秀教職員表彰 被表彰者名簿（奈良県）

No.	学校名	氏名	概要
7	奈良県立磯城野高等学校	井上 雅之 <small>いのうえ まさゆき</small>	<p>魅力ある専門学科づくりに向けた取組について</p> <p>環境デザイン科長として魅力ある学科づくりを目指して、教員の組織力強化による学科の特色化に取り組んだ。農業科は分野が多岐にわたり、教員が各々の専門分野外の授業・実習を担当することも多いため、学科を担当する教員を様々な実技研修会に参加させるよう働きかけを行い、教員間での技術の継承を重視し、教員の技術力向上を図った。また、各種民間団体が募集する助成事業等を積極的に活用し、造園関連の道具等を取り揃えるなど、より実践的な実験実習が可能となる学習環境を整備した。</p> <p>さらに、学校経営戦略である「生徒を輝かせるしかけづくり」の具現化のため、授業・実習で身に付けた知識・技術を発揮する機会として、技能検定(造園工事作業)やトレース技能検定等の資格取得にチャレンジさせている。その結果、技能五輪全国大会(造園競技)学生の部で最優秀賞2回、技能検定(造園工事作業)2級、トレース技能検定2級で毎年度多数の合格者を出すなど、すばらしい成果を上げている。</p>
8	奈良県立奈良朱雀高等学校	花谷 隆 <small>はなだ たかし</small>	<p>専門高校における本県産業教育の推進について</p> <p>平成17年度以降、3回の奈良県産業教育フェア事務局長を担当し、フェアを成功に導いている。各部会間の調整や開催までの準備作業にかかる進行管理、外部への啓発活動等に関わることを通して、フェアそのものの課題や今後の方向性について深く考え、関係者間で検討を重ねることにより、産業教育の振興に大きく貢献している。減少傾向であった参加・来場者数の増加を目指して、今年度のフェアから学校開催を取り止め、大型商業施設での開催としたことは、これまでの反省や検討による根本的な改革といえる。</p> <p>また、平成21年度より奈良県産業教育振興会事務局の業務に当たり、平成24年度からは事務局のまとめ役に当たる総務関係の仕事を担当している。産業教育振興会における校内委員会、企画委員会、理事会、総会などにおいて、企画・立案から準備、当日の運営まで関わり、奈良県の今後の産業教育にとって何が大事なのか、また何をしなければいけないのかという未来の姿について検討していく中心人物として尽力している。</p>
9	奈良県立畷傍高等学校	中辻 和宏 <small>なかつじ かずひろ</small>	<p>部活動を通して「自ら考える力」を育成する指導について</p> <p>過去には全国大会に出場するなど伝統と実績を持つバスケットボール部を、全国の舞台で戦わせたいという強い思いで指導を始め、練習方法はもとより、生徒たちのバスケットボールへの思いや学校生活に対する姿勢までも視野に入れ、指導の在り方を大きく見直し、生徒たちが「自ら考える力」を育成することができるよう、工夫した指導を実践した。</p> <p>学業との両立の中で、限られた練習時間で最大限の力を発揮できるよう、プレーの意味を徹底して指導し、生徒たちに考えさせることで、自発性と積極性を持たせるというチーム作りを確立した。また、高校生のベースは学校生活、学業にあるという原点に立ち返り、生徒一人ひとりの学校生活に目を向けさせるとともに、バスケットボール部OBの話を聞く機会を持つなどの指導を継続して行うことにより、生徒たちが自分の将来に向けて考え、部活動においても、今どのようにプレーすればよいか自ら考え判断する力を持つようになっている。</p> <p>その結果、平成22年度以降、3度の全国大会出場を果たすという大きな成果を残している。</p>

平成27年度文部科学大臣優秀教職員表彰 被表彰者名簿（奈良県）

No.	学校名	氏名	概要
10	智辯学園奈良カレッジ 中学部・高等部	清水 治 <small>きよみず ぬし</small>	<p>個々の能力を最大限に伸ばす数学の指導について</p> <p>数学科教諭として、「考え方・解法の方針」を重視し、個に応じた丁寧な添削指導や補習等により、担当したすべての生徒の学力向上を果たした。超難関レベルの入試問題の解法だけでなく、数学を不得手とする生徒の能力も引き出すなど、個々の生徒の能力を最大限に伸ばす指導方法は、すべての教員に対して模範となっている。現在、総務主任として新任教員をはじめ後進の教員の指導にも尽力し、その的確な指示や細やかな対応に対し管理職教員からの評価も高い。</p> <p>また、学園の目標である、「使命感を持つ誠実・明朗な人間の育成」を基本に、個々の精神的成長に合わせた生徒指導は、自立・自主性の伸長に寄与し、社会においてリーダーシップを発揮できる生徒を多く輩出してきた。</p> <p>このような誠実な教科指導や生徒指導は、生徒をはじめ保護者や教職員から非常に厚い信頼を得ている。</p>
11	奈良女子大学附属中等 教育学校	長谷 圭城 <small>ながたに けいじ</small>	<p>スーパーサイエンスハイスクールの研究推進及び、社会貢献活動への取組について</p> <p>本校は、平成17年度よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、同教諭はSSH主任及び教育課程委員として、模範となる実践をおこなった。①第1期（平成17年度～平成21年度）：生活科学リテラシーの研究開発（学校設定科目「生活科学」「科学と技術」「生活デザイン」のカリキュラム開発）、②第2期（平成22年度～平成26年度）：「リベラルアーツ」を具現化する学校設定科目「コロキウム」のカリキュラム開発、③第3期（平成27年度指定）：SSH主任として、研究構想の全体の統括や新たな理数教育カリキュラム（合科）の研究開発への取組などにおいて顕著な成果をあげた。今年度は全国SSH生徒研究発表会で、「抹茶の科学」と題した発表をおこない、科学技術振興機構理事長賞受賞に導いている。</p> <p>また、社会貢献活動にも積極的に関与し、平成17年度デジタル教材「よみがえれ現代のシルクロード 国際都市平城京に学ぶ」（子ども夢基金助成事業）の制作協力をしたほか、奈良市プロポーザル審査委員として、平成24年度は奈良市観光パンフレット業務委託事業、クリーンセンター施設基本計画策定等業務委託事業へ関わり、また平成26・27年度奈良市指定管理者選定委員として活躍するなど、幅広い活動で学校の牽引力となっている。</p>